

2026年度

2026年6月期 決算説明会資料

株式会社イーワン精密
証券コード：6156
2026年8月25日



MISSION

高品質の製品をより低コスト、短納期で対応する

顧客ニーズを充足するため、お客様が必要とする仕様・品質の製品を可能な限り短納期で納品する

ものづくりに不可欠な工具を安定的に供給することで製造業に資する

ものづくりに不可欠な旋削・切削加工に使用される工具を安定的に供給することで、お客様のコスト削減に寄与する

VISION

世の中に貢献することで適正な利潤を上げる

世の中に必要とされる工具を提供することで適正な利潤を追求し、株主様へ還元する

製造業の加工方法

④ 塑性加工 プレス 板金 鍛造

④ 付加加工 溶接 3Dプリンター

④ 除去加工 切削 研削 ワイヤークット



材料を回転させる

保持工具 コレットチャック

切削工具を当てて削る



材料を固定する

切削工具を回転させて削る

材料・機械・部品形状により
多様な工具が必要となる

事業内容

自動旋盤用カムの製造・販売 1970年（昭和45年～）

コレットチャックの製造・販売 1976年（昭和51年～）

切削工具の再研磨 1999年（平成11年～）

特殊切削工具の製作 2007年（平成19年～）

事業領域

旋盤による旋削加工、マシニング・フライスによる切削加工に使用される消耗工具に特化

機械により素材を削り出し精密な部品加工する根幹となる製造工程に的を絞っている

工具の中でも使用される状況に応じて種類・形状が多岐に亘り製造に手間のかかる工具

他社との差別化・当社の特色

多品種で手間のかかる工具に1本から高品質・短納期対応する

直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

10,000社以上の顧客からリピートオーダーが入る

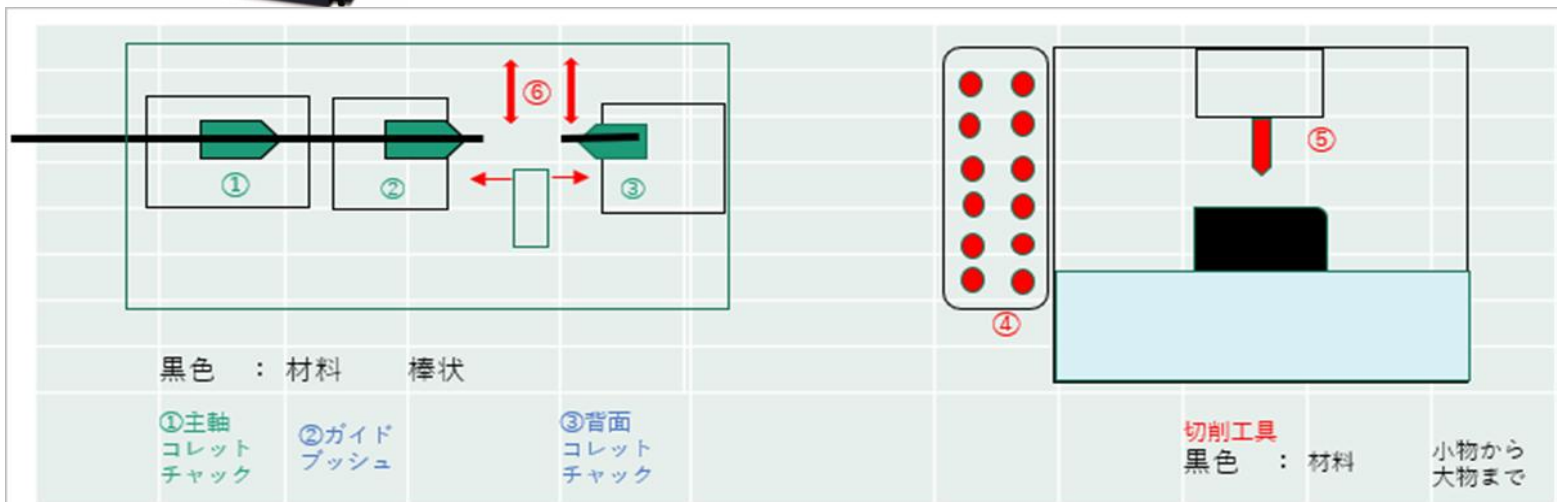
コレットチャック・ガイドブッシュの製作・販売 切削工具製作・販売、再研磨



CNC自動旋盤
スター精密 SB20R II



マシニングセンター
森精機HPより NVD5000α1



① コレットチャック



④ ⑤ ⑥ 切削工具製作・再研磨



《 コレットチャック部門 》

コレットチャック・ガイドブッシュの製作・販売

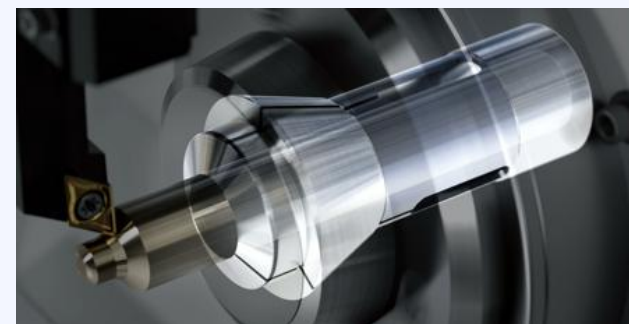
主な小型CNC自動旋盤メーカー
シチズンマシナリー、スター精密、ツガミ （他 野村DS、高松機械、エグロなど）

上記3社の2025年販売額合計 2,444億円（うち国内販売額推定 366億円）

加工部品

精密機械・産業機械・電子部品

半導体、自動車、航空機、医療機器、水道栓、ガス器具、住宅機器など



《 切削工具部門 》

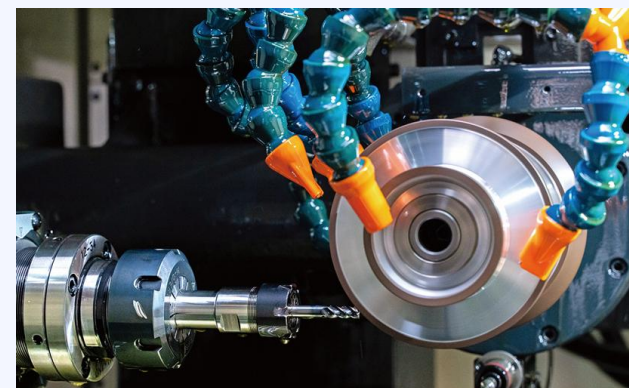
切削工具を使用する主な機械 マシニングセンター
オークマ、森精機、牧野フライス、ヤマザキマザック、
キタムラ機械、安田工業、松浦機械など

2025年販売額

マシニングセンター 6,754億円

超硬エンドミル 494億円 超硬ドリル 459億円 推定再研磨市場 200億円～300億円

その他超硬工具 343億円 特殊切削工具 150億円ほど



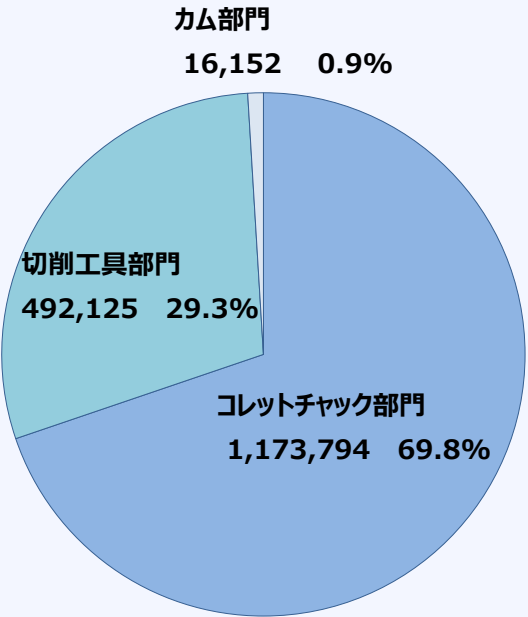
2026年6月期 決算概要

売上	国内製造業の受注が底上げ。コレットチャックの海外売上増加と価格改定が寄与し、増収となった。
原価	材料費は増加したものの、減価償却費や経費の減少により製造原価は減少。
利益	売上総利益の増加により営業利益は大幅増益し。受取利息・有価証券利息等も増加し、経常利益も大幅増益。

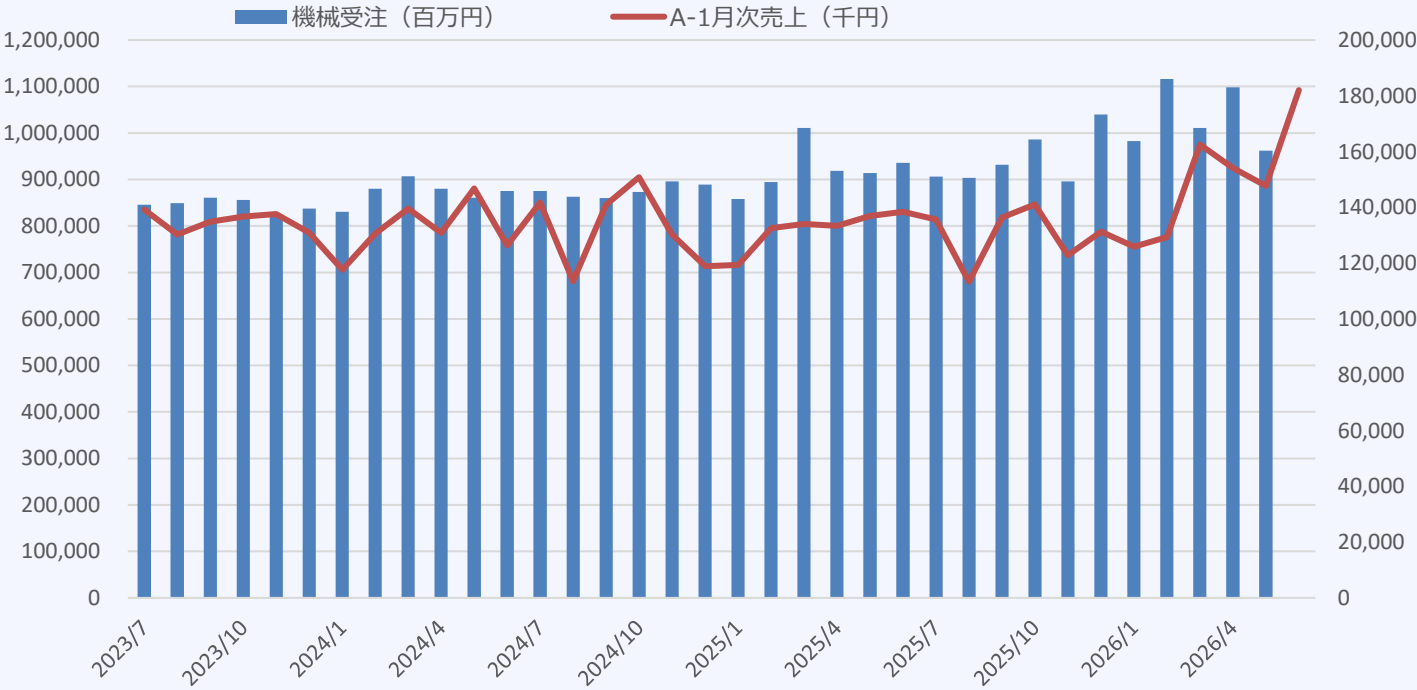
人件費	(千円)		
	34期	35期	36期
労務費	857,553	842,584	813,920
コストに占める比率	59.7%	55.9%	56.3%

設備投資額と減価償却費	(千円)		
	34期	35期	36期
設備投資額	95,197	344,251	133,884
減価償却費	153,136	182,152	106,535

部門別売上構成比（千円）



実質機械受注と月次売上高



≪ 2026年6月期 損益の状況 ≫

（単位：千円）

	2025年6月期			2026年6月期			増減要因
		売上構成比	前年同期比		売上構成比	前年同期比	
コレットチャック	1,106,068	69.5%	100.1%	1,173,794	69.8%	106.1%	国内受注が底上げ。半導体関連など海外受注が増加し、価格改定も寄与。
切削工具	470,433	29.6%	97.2%	492,125	29.3%	104.6%	市販品の再研磨は減少。別注切削工具が増加し、全体では増収。
自動旋盤用カム	14,344	0.9%	108.3%	16,152	0.9%	112.6%	カム式自動旋盤向け量産部品が動き、受注量が微増。
売上高合計	1,590,845	100.0%	99.3%	1,682,072	100.0%	105.7%	国内は底打ち、海外が増加。コレットチャックを中心に受注が増加し、増収。
売上原価	1,174,312	73.8%	104.1%	1,091,717	64.9%	93.0%	
売上総利益	416,533	26.2%	87.9%	590,355	35.1%	141.7%	売上高の増加に加え、減価償却費等の製造原価が減少し、大幅に増加。
販売費及び一般管理費	331,878	20.9%	107.4%	354,538	21.1%	106.8%	
営業利益	84,655	5.3%	51.4%	235,817	14.0%	278.6%	売上高の増加と製造原価の減少により、営業利益は大幅に増加。
経常利益	119,781	7.5%	66.9%	287,647	17.1%	240.1%	
当期純利益	△221,288	—	—	200,502	11.9%	—	前期に計上した固定資産減損損失がなくなり、黒字化。

<< 2026年6月期 財務の状況 >>

（単位：千円）

事業年度	2025年6月期		2026年6月期		増減要因
資産	金額	構成比	金額	構成比	
現預金	4,676,064	58.0%	4,104,345	50.5%	571,718千円減少
売上債権	277,965	3.4%	293,960	3.6%	
棚卸債権	319,292	4.0%	309,467	3.8%	
その他流動資産	74,076	0.9%	27,478	0.3%	
固定資産	2,711,190	33.7%	3,386,478	41.7%	投資有価証券772,163千円増加
資産合計	8,058,590	100.0%	8,121,730	100.0%	
負債・資本					
買入債務	18,069	0.2%	23,492	0.3%	
その他流動負債	89,704	1.1%	213,518	2.6%	
固定負債	465,469	5.8%	481,213	5.9%	退職給付引当金17,896千円減少
負債合計	573,243		718,224		
純資産合計	7,485,347	92.9%	7,403,505	91.2%	別途積立金600,000千円減少、繰越利益剰余金298,480千円増加
負債・純資産合計	8,058,590	100.0%	8,121,730	100.0%	

≪ 2026年6月期 キャッシュ・フローの状況 ≫

（単位：千円）

	2025年6月期	2026年6月期	対前年比 増減額	増 減 要 因
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,438	547,048	395,610	主な増加要因：税引前当期純利益287,593千円
投資活動によるキャッシュ・フロー	104,751	281,475	176,724	主な増加要因：定期預金の純増減額897,928千円 主な減少要因：有形固定資産の取得による支出114,197千円 投資有価証券の取得による支出500,000千円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501,725	△502,315	△590	配当金の支払額：501,329千円
現金及び現金同等物の増減額	△245,535	326,209	571,744	
現金及び現金同等物の期末残高	433,389	759,598	326,209	

◀ 今後の事業展開 ～ 自動旋盤用カム部門 ～ ▶

自動旋盤用カムの現状

- ◇カム式自動旋盤(すでに製造中止)は単品大量生産向きで少量ながらカムの需要は継続
- ◇現存する機械(推定：国内外で数千台程度)で必要になれば受注

カムの供給メーカー

- ◇中小メーカーが継続していたがほとんど撤退

当社の事業展開

- ◇既存設備と人員 2 名(設計と製造)で対応
- ◇工場内に切削工具部門が併設、カムの受注がないときは切削工具の加工を兼任

◀ 今後の事業展開 ~ コレットチャック部門 ~ ▶

国内累計台数
8~10万台

海外累計台数 推定
14~16万台

コレットチャック市場

新規 推定10億円

補充 推定12億円

供給メーカー 4社ほど(当社含む)

CNC自動旋盤 2025年 (シチズン、スター精密、ツガミ 3社分)

	国内	海外
新規販売金額	約366億円	約2,078億円
販売台数	約2,800台	約15,900台

当社の2026年6月期
海外売上 1.98億円
(対売上比率 10.6%)

コレットチャックの内訳

CNC自動旋盤用 標準品 60%程度
 セミオーダー品 35%程度
 特殊品 5%程度

専用機・設備向け オーダー品 少量

◀ 今後の事業展開 ～ コレットチャック部門 ～ ▶

今後の成長に向けた取り組み

01



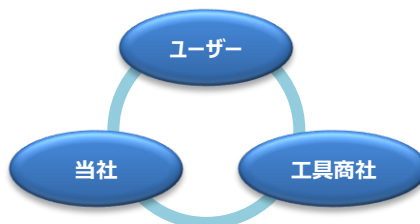
標準品・セミオーダー品ともに品質、納期を徹底する。

新規顧客開拓、既存顧客深堀り

02



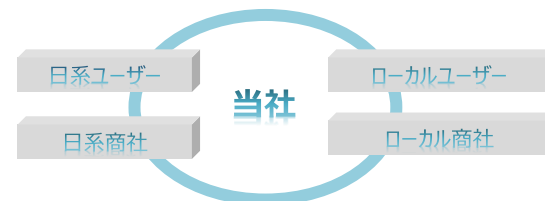
顧客の要望を充足して受注に繋げる。



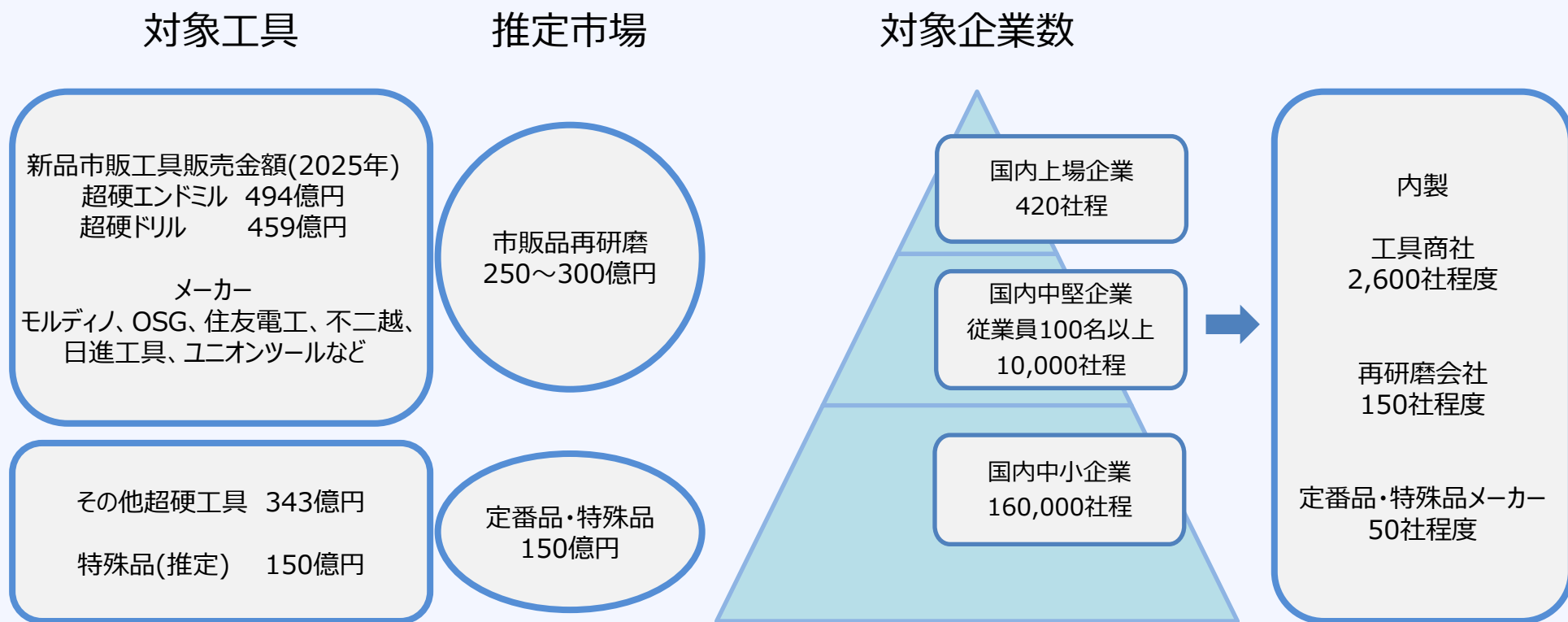
03



海外への取り組みを強化
(日系、ローカル商社と協力)



《 現在の市場状況と今後の展開 ～ 切削工具部門 ～ 》



- ＜ 当社の設備内容 ＞
- ・市販品再研磨
CNC6軸工具研削盤 37台 他
 - ・定番品・特殊品
高精度研削盤 14台 プリファイル研削盤 3台 他

今後の成長に向けた取り組み

01



**競争力の高い特殊品を拡販
(品質・納期での優位性)**

新規顧客をターゲットに、深耕開拓を
加速。

02



- 取引口座がある6,000社の活用。
- 顧客の要望を充足して受注に繋げる。
- 定番品を拡販

03



**工具商社との連携強化
(国内外)**



会社名

株式会社エーワン精密

事業内容

自動旋盤用コレットチャック・ガイドブッシュ、
各種機械・専用機のコレットチャックの製造・販売
切削工具再研磨、特殊切削工具製作・再研磨
自動旋盤用カムの製造・販売

設立

1970年(昭和45年)9月

代表者

林 哲也

本社所在地

〒183-0033 東京都府中市分梅町2丁目20番5号

証券コード

6156

URL

<https://www.a-one-seimitsu.co.jp/>

本資料に関するお問い合わせ

株式会社エーワン精密 管理グループ

電話番号：042-363-1039

メールアドレス：info@a-one-seimitsu.co.jp

以下でも情報を公開しておりますのでぜひご覧ください



決算関連資料

本日発表の決算短信や、過去の説明会資料など、詳細な情報はここからご覧いただけます。

本資料における将来の予測に関する記述は、現時点での情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。